

2021年6月10日

札幌市長 秋元克広 様

一般社団法人児童発達支援連絡協議会

会長 村重 欣延

会員 300 施設 同



## 障害児通所支援事業所職員への 新型コロナウイルス感染症ワクチン早期接種に関する要望書

日頃から、本会の活動へのご理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。また、新型コロナウイルス感染症（以下、新型コロナ）の感染および重症化予防を目的とした医療従事者並びに高齢者へのワクチン接種開始に感謝申し上げるとともに、医療従事者などへの優先接種を皮切りとした迅速な接種体制の確立を期待するものです。

さて、本会は札幌市及び札幌市近郊の児童発達支援事業所、放課後等デイサービス事業所等の計 300 施設が加盟しており、日々感染予防に努めながら幼児から学童・生徒への発達支援並びに家族支援を基本とする地域支援を行っております。支援を必要とする障がい児の介助・支援にあたっては、密着支援・介助となる場合が多く、その特性上マスクを着用できない場合も多くあります。事業所職員が感染しないこと、利用児に感染させないことが重要です。コロナ禍における緊急事態宣言下においても障がい児の受け入れ先として、職員は公私の別を問わずに感染予防に努めており、感染症終息の出口が見えないなかあって、極度の緊張のなか、日々支援を行っております。

つきましては、次のとおり本会からの要望を提出いたしますので、よろしく取り計らいのほど、切にお願い申し上げます。

### 記

#### 1 障害児通所支援事業所職員への早期接種

障害児通所支援事業所は小規模事業所が多く、各事業所単独での早期の職域接種は非常に難しいところです。感染者が発生すると子ども特有の行動による濃厚接触の判定が広範囲になり、事業所単位の休業は避けられない状況です。また、当然ながら利用児童の一定数は重症化リスクのある基礎疾患を有する幼児・児童生徒がいるとともに、感染症リスクを考え事業所利用しない幼児童（保護者）もあり、子どもたちの早期発達支援について遅れが生じています。障害児支援を担う事業所職員がいかに感染を予防し、悪化を防止するかは、地域の障害福祉、子どもたちの日々の生活を守るための最重要事項の一つです。札幌市内障害児通所支援事業者、障害児入所施設計 760 事業所職員への集団接種会場を活用した新型コロナウイルス感染症ワクチン早期接種をしていただきたく、切にお願い申し上げます。

## 2 職域接種実施に向けた医療従事者（医師、看護師）の派遣

本会に加盟している医療法人の運営する事業所へ向け、職域接種の実施に向けた医療従事者（医師、看護師）の協力アンケート（6月3日付）を実施したところであります。しかしながら、接種場所の確保については、一定程度の目途がついたものの、医療従事者の確保が職域接種実施への最大の障壁となっております。本市における医療提供体制の逼迫については各種報道等を通じて承知しているところではありますが、職域接種実施に向けた医療従事者（医師、看護師）の派遣について、本会及びその他札幌市医師会など業界団体との協議の実施をお願い致します。

## 3 上記2点の広域実施（札幌市及び札幌市近郊）の取り組み

本市において指定を受けている障害児通所支援事業所（児童発達支援・放課後等デイサービス）は、6月1日現在592事業所ありその多様なサービスから、札幌市内だけではなく近隣市町村在住の子どもたちも利用をしているとともに、居住地によってはまたその逆もあります。従って、札幌市単独での取り組みではなく、広域実施（札幌市及び近郊市町村）を行うことは、ワクチンの有効性及び地域の障害福祉、子どもたちの日々の生活を守るための取り組み効果を最大限に引き上げるものと考えております。つきましては、札幌市がイニシアティブをとり、上記2点の広域実施に向けた各種関係機関との協議実施をお願いいたします。

以上

### 【事務担当】

一般社団法人 児童発達支援連絡協議会

〒060-0061 札幌市中央区南1条西13丁目4-40 SAKURA-W13 R 号室

TEL：011-206-9684 FAX：011-206-9685

HP：<http://www.jihatsuren.jp/> Mail：[info@jihatsuren.jp](mailto:info@jihatsuren.jp)